

A:計画書の印刷について

視覚障害のある方が、策定する計画書を読めるように、音声コードを添付します。

音声コード Uni-Voice (2次元コード) を活用して、視覚障害者や外国人に印刷物の内容を音声で伝えることができます。

(音声で伝える方法)

- ①スマートフォンを音声コードにかざして専用アプリ (Uni-Voice / Uni-Voice Blind) で読み取る方法。
- ②視覚障害者用活字文書読上げ装置 (スピーチオ、テルミーなど) で、音声コードを読み取る方法

(参考)

2023年11月末現在、JAVIS APPLI を導入した自治体は 426 団体です。民間法人では、383 法人が導入しています。

(特定非営利活動法人 日本視覚障がい情報普及支援協会 (JAVIS) ホームページより転記)

B:障害のある人が製作する作品などを計画書に印刷し、計画書を読む人に、作品の紹介を通じて、障害のある人についての理解促進を図ります。

市では、令和 6 年 2 月に、障害者作品展を開催し、多くの作品が出店される予定です。その中の作品の一部を、計画書の中で紹介します。

(掲載例) 将来の夢に関する作品、好きなものなどを描いた絵画など

